

未来に向けた「型管理・三つの行動」

～減らす、見直す、仕組みを作る～

(未来志向型・型管理に向けたアクションプラン)

平成29年7月

経済産業省
製造産業局

経済産業省が設置した研究会（自動車メーカー、自動車部品メーカー、素形材企業が参画）において、型の廃棄、保管料支払い、マニュアル整備等の具体的な「アクションプラン」が、7月18日にとりまとめられた。

「型管理（保管・廃棄等）における未来志向型の取引慣行に関する研究会」 （平成29年1月～7月）

（参考）金型が表紙のMETIジャーナル4・5月号

委員長：細田孝一 神奈川大学法学部教授

委員： 一般社団法人日本自動車工業会
一般社団法人日本自動車部品工業会
素形材業界 4団体

事務局：経済産業省、中小企業庁



「型管理」に関する基本的考え方

型の保管・管理に係る、実効性のある適正なあり方が整理されている。

1) アクションプラン・方針①

: 不要な「型」は廃棄する。(平成31年3月末日処)

2) アクションプラン・方針②

: 引き続き保管が必要な「型」については、必要な管理費用(保管費用等)の支払いや保管義務期間等について、取引当事者間において協議・合意の下、取り決めを行う。(平成32年3月末日処)

3) アクションプラン・方針③

: 型管理について、社内においてルール(マニュアル等)を明文化する、運用のあり方を今一度見直す。(平成32年3月末日処)

※アクションプラン①～③の、1年目の実践結果で得られた経験や課題等を踏まえ、必要に応じアクションプランを見直す。

アクションプランの今後の進め方

経済産業省、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、素形材業界団体が協力し、アクションプランの企業への浸透・徹底を図る。

7月18日	第7回研究会で「アクションプラン」をとりまとめ。
7月24日	HPで公表。
8月以降	<p>1. 説明会の実施</p> <ul style="list-style-type: none">各地方(東京・名古屋・大阪・仙台・広島・北海道等、7カ所程度を予定)で説明会を実施し、自工会・部工会・素形材関係団体とともに、事業者に対してアクションプランの浸透・徹底を図る。 <p>2. 協議・相談項目の抽出</p> <ul style="list-style-type: none">型の管理等において、受注者が発注者と協議・相談する必要のある項目について、8月中に抽出し、周知・徹底を図る。 <p>3. 型廃棄トライアルの実施（平成30年3月末までに終了）</p> <ul style="list-style-type: none">アクションプランの実施にかかる課題を事前に顕在化させ、対応策を検討し、実際の運用に反映させる。具体的には、日本自動車部品工業会と協力し、tier1の企業数社に対して、型管理に関するマニュアル整備及び型廃棄トライアルの実施を依頼し、課題の洗い出しと対応策をまとめる。 <p>4. フォローアップ調査と見直しの実施</p> <ul style="list-style-type: none">アクションプランの実施状況に関するフォローアップ調査を実施する。具体的には、平成29年の9月～10月頃、自主行動計画のフォローアップ調査を活用して、実際の着手状況を確認する。その結果を踏まえ、必要に応じて個社の取り組み改善を促すとともに、2年目以降のアクションプランの見直し等を行っていく。